

# 博物館実習実践研修会

二〇二二年度 関西大学博物館

## 6/18 (土)

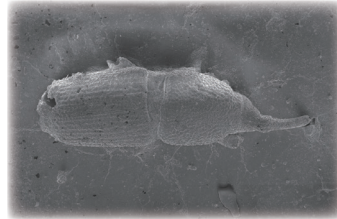
10:40 ~ 12:10

### 第1回

#### ① 土器圧痕研修

講師：小畑 弘己氏

土器の中に残るタネやムシの圧痕を探し出す「圧痕レプリカ法」を実践し、その方法について学ぶとともに、圧痕法の原理と理論、そこから導かれる歴史像についての最新の成果を紹介します。



## 6/25 (土)

10:00 ~ 11:30

### 第2回

#### ② 日本刀研修

講師：河内 國平氏・河内 晋平氏  
高見 國一氏

日本刀の歴史や見所などについて講義。実際に刀剣を手にして鑑賞の仕方や手入れ、取り扱い方法を学びます。



- 会場：関西大学博物館  
(詳細は当日ご案内いたします)
- 定員：第1回・第2回ともに20名
- 受講料：無料
- 申込方法：Eメールまたは 往復はがき

受講を希望される方は件名を「実践研修会」とし、①氏名(漢字・ふりがな)②連絡先(電話番号・E-mail アドレス)③希望研修番号(①・②、一度に複数回の申込みも可)、④学芸員資格の有無を記入のうえ、E-mail もしくは往復はがき(返信先住所記入のこと)にてお申込みください。なお、希望者が定員を超えた場合は、抽選を行います。受講決定の可否は、講座日の1週間前までにE-mail または往復はがきにてお知らせいたします。受講決定者は当日、受講決定通知書を持参して、受付にてご提示ください。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、やむを得ず開催を中止させていただきます。



関西大学博物館

関西大学千里山キャンパス 簡文館内  
〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel. 06-6368-1171  
Fax. 06-6388-9928 <https://www.kansai-u.ac.jp/Museum/>  
E-mail: [hakubutsukan@ml.kandai.jp](mailto:hakubutsukan@ml.kandai.jp)

■ アクセス：阪急千里線「関大前」駅下車。北改札口より徒歩10分

# 2022年度 関西大学博物館 博物館実習実践研修会

関西大学博物館は、平成6年4月に開館いたしました。その前身の考古学等資料室の時代から、所蔵する現物資料を使った学芸員の養成に力を注いでおり、60年以上の伝統をもつ本学博物館学課程のプログラムでは、資料に向き合う姿勢を大切にして、伝統と先取性のバランスを保った授業を行っています。

本館の大きな特長である学芸員養成機関としての取り組みを拡大し、資料の取り扱いを実践的に学ぶ研修会を開催いたします。

博物館資料の取り扱いについて興味・関心を持たれている方、学芸員を希望する学生、研究職・専門職・教育職等に従事されている方など、積極的なご参加をお待ちしています。

## 第1回 6/18 (土) 10:40 ~ 12:10 講師: 小畑 弘己氏

### 【プロフィール】

1959年長崎県生まれ。熊本大学大学院人文社会科学部・教授。福岡市教育委員会・熊本大学埋蔵文化財調査室を経て、2011年より現職。文学博士。専門は東北アジア古民族植物学。主な著書に『シベリア先史考古学』(中国書店)、『考古学の基礎知識』(共著・角川書店)、『岩波ジュニア日本の歴史1国のなりたち』(共著・小学館)、『東北アジア古民族植物学と縄文農耕』(同成社)、『タネをまく縄文人』(吉川弘文館)(第5回古代歴史文化大賞受賞作)、『昆虫考古学』(KADOKAWA)など。



## 第2回 6/25 (土) 10:00 ~ 11:30 講師: 河内 國平氏・河内 晋平氏 高見 國一氏

### 【プロフィール】

河内國平氏は奈良県指定無形文化財保持者で、日本美術刀剣保存協会「新作刀展無鑑査」という、現代の刀匠としては最高位の評価を受ける名工のひとり。関西大学在学中から考古学の末永雅雄教授の薫陶を受け、卒業後、家業であった刀鍛冶の道に進む。人間国宝の宮入昭平師と隅谷正峯師から「相州伝」と「備前伝」の技を学ぶ。両伝で作刀ができる数少ない刀匠。

河内晋平氏は國平氏の四男で、東京国立博物館アソシエイトフェロー、東京藝術大学アーカイブセンター教育研究助手を経て、現在「株式会社studio 仕組」代表取締役。

高見國一氏は1992年に河内國平氏に入門、1999年に独立し高見國一鍛刀場設立。新作名刀展・高松宮記念賞他特賞9回受賞、令和元年「無鑑査認定」、兵庫県芸術奨励賞など。

